

訂正 (変更)

5月1日に提供しました資料について下記のとおり訂正(変更)します。

令和2年5月1日(金)
自然環境課 自然共生G
外線 076-225-1476/内線 4265

県庁舎で営巣しているハヤブサのヒナ誕生について

今年も県庁舎で県絶滅危惧種ハヤブサが営巣していますが、平成26年から7年連続でヒナの誕生が確認されました。

1 ふ化について

令和2年4月30日(木)までに、県庁舎で営巣中のハヤブサから3羽のヒナが誕生したことを職員が確認しました。

- ・令和2年は、3月24日(火)までに4個の産卵を確認していましたが、このうち3個がふ化に至りました。
- ・ヒナの誕生は平成26年から7年連続となります。

2 ハヤブサについて

ハヤブサ科。

希少種カテゴリー：県レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類、国レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類。国内希少野生動植物種。

生態：海岸部の生態系の頂点に位置する鳥。県内では能登半島と加賀地方の海岸で繁殖。

3 県庁舎でのハヤブサの営巣

ハヤブサは、高所から獲物(鳥など)を探すことができる海岸近くの断崖に営巣する習性があり、県庁舎の高層階のベランダは、ハヤブサの営巣場所に適していたと考えられます。

- ・県庁舎でのこれまでの繁殖状況

H31:4 卵産卵、3羽ふ化

H27:4 卵産卵、4羽ふ化

H30:5 卵産卵、5羽ふ化

H26:4 卵産卵、3羽ふ化

H29:5 卵産卵、5羽ふ化

H17~25:産卵のみ

H28:5 卵産卵、5羽ふ化

- ・県では、繁殖成功に向け、専門家の指導を受け、ベランダに砂を敷き、また窓のブラインドを下ろし刺激しないようにするなど留意をしてきました。
- ・今回のヒナ誕生については、自然環境課ホームページにて紹介しています。

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/index.html>

4 取材について

ヒナの保護の観点からマスコミの現地取材は、ご遠慮下さい。

※写真を提供します。必要な社はご連絡下さい。

(連絡先：生活環境部自然環境課 外線 076-225-1476/内線 4265)



ハヤブサのヒナと卵と親鳥（令和2年4月30日撮影）